


★先生方へ～解答欄の 1 ～11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

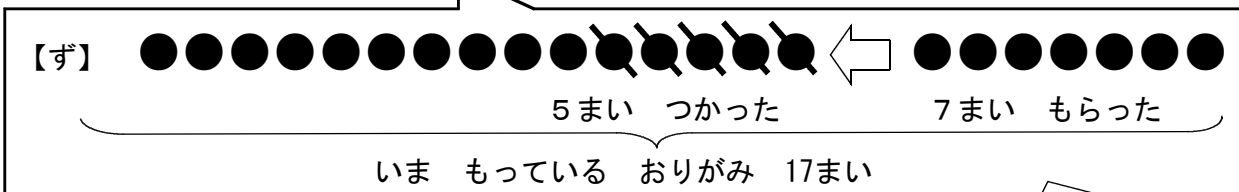
1 ¹ 12 - 4 16 - 9

2 ² 6 ³ 12 2ずつふえます。

3 (1) ⁴ え (2) ⁵ う

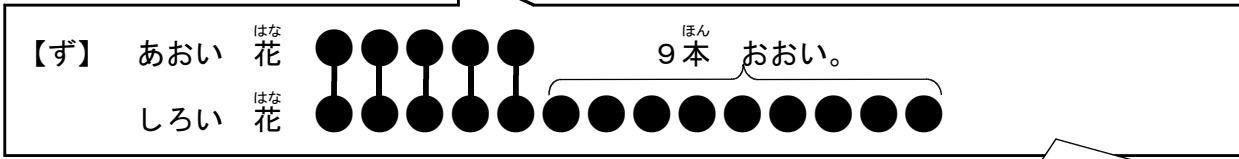
4 ⁶ なかみを うつした コップの かずで くらべます。
① の ほうが  4 はいぶん おおく はいる。

5 (1) ⁷ しき 15 - 5 + 7 ⁸ こたえ 17まい



(2) ⁹ しき 14 - 5 ずに なにも かいていなくても、しき、こたえが あっていれば せいかいです。

¹⁰ こたえ しろい ^{はな} 花 が ^{ほん} 9本 おおい。



ずに なにも かいていなくても、しき、こたえが あっていれば せいかいです。

6 ¹¹ (れい) いけに あひるが 4わ います。
あとから 3わ きました。
あひるは ぜんぶで なんわに なりましたか。

れいの 「あひるの かず」の ほかに、「じどうしゃの かず」や「せの たかい ^き 木と
せの ひくい ^き 木の かず」、「花の ^{はな} かず」でも もんだいをつくること できます。

〔算数〕 小2 組 番号 名前

答え(児童用)

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

1

$$10 - 7$$

10 - 7 = 3 でも
せいかいです。

3本の直線 (ちよくせん) でかこまれた形を三角形とい
います。

2

ア
2

(れい)
直線 (ちよくせん) でか
こまれていないから。

イ
3

(れい)
1つの辺 (へん) が直線
(ちよくせん) でないから。

かこまれていないことをかいて
いれば、せいかいです。

辺 (へん) がまがっていることを
かいていれば、せいかいです。

3

(1) 4 (1 mm 5 mm 5 cm)

(2) 5 (18 cm 88 cm 1 m 80 cm)

(3) 6 (6 cm 7 m 170 m)

(もっていたおりがみの数) - (のこりのおりがみの数) = (あげたおりがみの数)
になります。

4

しき 7

$$38 - 29$$

答え 8

9まい

5

(れい)

9

百円玉を2まい、五十円玉を1まい、十円玉を2まい、
五円玉を1まい

10

百円玉を2まい、十円玉を6まい、五円玉を3まい

このほか、「百円玉を1まい、五十円玉を2まい、十円玉を6まい、五円玉を3まい」、「百
円玉を2まい、五十円玉を1まい、十円玉を1まい、五円玉を3まい」などもせいかいです。

6

いえ じ
家を出る時こく

11

午前9時15分まで

午前9時15分

9時30分

9時50分

10時

(家を出る)

(バスでい)

(どうぶつ園)

(しゅうごう時こく)

じゅんばんに図をかくと、家を出る時こくがわかります。

平成30年度「ほっかいどうチャレンジテスト」学年末問題（第6回）
 小学校第3学年

算数 解答用紙（児童用）

1	(1)	5	(2)	$\frac{3}{7}$
---	-----	---	-----	---------------

(3)	8	8分の1の8こ分は、8分の8で1と同じ大きさです。
-----	---	---------------------------

2	(1)	g	(2)	k g	(3)	t
---	-----	---	-----	-----	-----	---

3	(1)	$\frac{2}{5}$ m	(2)	$\frac{4}{6}$ L
---	-----	-----------------	-----	-----------------

4	(1)	重い方 ウ→イ→ア→エ	(2)	工
---	-----	----------------	-----	---

2 k g 3 0 0 g は 2 k g よりも 3 0 0 g 重く、1 7 5 0 g は 2 k g よりも 2 5 0 g 軽いので、2 k g にいちばん近い重さは 1 7 5 0 g になります。

5	(れい)	$\frac{1}{9}$ をもとにして考えると、 $\frac{7}{9}$ は $\frac{1}{9}$ が 7 こ分、 $\frac{2}{9}$ は $\frac{1}{9}$ が 2 こ分なので、 $7 - 2 = 5$ となり、 $\frac{1}{9}$ が 5 こ分で、答えは $\frac{5}{9}$ となります。
---	------	---

6	(1)	1 6 0 g
	(2)	求め方 (れい) ジュース 8 本と箱の重さは 8 8 0 g で、箱の重さは 1 6 0 g だから、 $8 8 0 - 1 6 0 = 7 2 0$ で、ジュース 8 本の重さは 7 2 0 g になります。 ジュース 1 本分の重さは $7 2 0 \div 8 = 9 0$ で、9 0 g になります。
	答え	9 0 g

ジュース 8 本の重さは、全体の重さ（ジュース 8 本と箱の重さ）から箱の重さを引くことで求められます。

算数 解答（児童用）

1

(1)	4 . 9 5	(2)	0 . 9 1 5
-----	---------	-----	-----------

(3)	7	小数のたし算、ひき算の筆算は、 位をそろえて書きましょう。
-----	---	----------------------------------

2

(1)	<	(2)	<
-----	---	-----	---

0.5と、0.04をたした数です。

3

(1)	0 . 5 4	(2)	5 8
-----	---------	-----	-----

(3)	0 . 8 3 6	100倍すると、小数点が右に 2けた分ずれます。
-----	-----------	-----------------------------

4

(例)
 7.59 - 0.8を計算して、6.79になるかどうかを確かめます。

5

250°	180°と、あと何度あるか調べたり、360°より何度小さいか調べたりして、角の大きさを考えましょう。
------	--

向かい合う1組の辺が平行な四角形を台形といいます。

6

台形 (あ)、(か)	平行四辺形 (い)、(え)
---------------	------------------

7

4	平行四辺形は向かい合った2組の辺がそれぞれ平行で長さが等しいというせいしつを使って考えましょう。
---	--

8

または

算数 解答（児童用）

1

(1)	0.35	(2)	$1\frac{11}{18}\left(\frac{29}{18}\right)$
-----	------	-----	--

2

(1)	80 m ²	(2)	1260 円
-----	-------------------	-----	--------

(もとにする量) = (比べられる量) ÷ (割合) なので、
 $32 \div 0.4 = 80$ となります。

次の2通りの考え方があります。
 ① 10%引きとは、ねだんの90%なので、1400円の90%のねだんを求めます。
 (式) $1400 \times 0.9 = 1260$
 ② 1400円の10%のねだんを計算し、1400円から引いて求めます。
 (式) $1400 \times 0.1 = 140$
 $1400 - 140 = 1260$

3

3

まず、4の倍数と5の倍数について考えます。
 4の倍数は、4、8、12、16、20…
 5の倍数は、5、10、15、20…
 なので、4と5の最小公倍数は、20になります。
 次に6の倍数について考えます。
 6の倍数は、6、12、18、24、30、36、42、48、54、60…
 20（4と5の最小公倍数）の倍数は、20、40、60…
 なので、4と5と6の最小公倍数は、60になります。

4

(1)	60	(2)	偶数 14、30	素数 5、19
-----	----	-----	-------------	------------

(3)

6 cm

2でわり切れる整数を偶数、1とその数のほかに約数がない整数を素数といいます。

紙の余りが出ないようにするためには、12 cmと18 cmを余りが出ないように割り切る最大の長さを求めます。
 12と18の最大公約数は6なので、できるだけ大きな正方形の1辺は6 cmになります。

5

(1)	1、3	(2)	1、4
-----	-----	-----	-----

1は、台形を三角形2つに分けて、4は、台形の面積の公式を使って考えています。

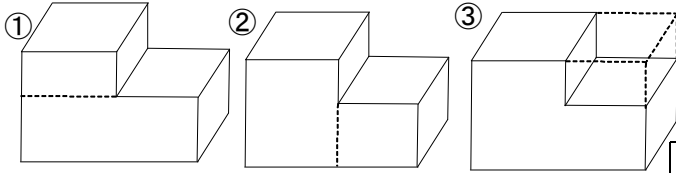
底辺の長さと高さが同じとき、三角形の面積は平行四辺形の面積の半分になります。

6

2

7

260 cm³



次の3通りの考え方があります。

- ① 横に補助線を引き、上下に立体を分けて考えると、
 $4 \times 11 \times 5 + 4 \times (11 - 6) \times 2 = 260$
- ② 縦に補助線を引き、左右に立体を分けて考えると、
 $4 \times 6 \times 5 + 4 \times (11 - 6) \times (2 + 5) = 260$
- ③ 欠けている部分を全体から引くと、
 $4 \times 11 \times (2 + 5) - 4 \times 6 \times 2 = 260$

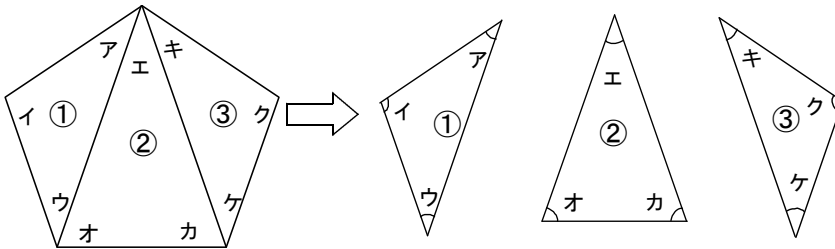
「対角線」という用語を使い、「1つの頂点から対角線をかくと、3つの三角形に分けられること」と「三角形の角の大きさの和は180°であること」を使って、考え方が書いてあれば正解です。

8

(例)

五角形は、1つの頂点から2本の対角線をかくと、3つの三角形に分けられます。

三角形の角の大きさの和は180°なので、五角形の角の大きさの和は、180×3で求めることができます。



1つの三角形の角の大きさの和は180°なので、求める式は180×3になります。

対角線で3つの三角形に分けます。(ア+イ+ウ=180°)(エ+オ+カ=180°)(キ+ク+ケ=180°)

9

4個

個数が0個の日も日数に入れるので5で割ります。
 $(6 + 3 + 2 + 0 + 9) \div 5 = 4$

「7m20cmとの差の部分の平均を求める式や言葉」と「もとにした7m20cmに求めた平均の20cmをたすことを表す数や言葉」が書いてあれば正解です。

10

7m20cmをこえた部分の平均を求めます。

$$(32 + 11 + 34 + 0 + 23) \div 5 = 20$$

もとにした7m20cmに、求めた平均の20cmをたします。

車が進んだきよりの平均は、7m40cmです。

11

(例)
 (1) 放課後にだぼくをした人数

7m20cmをこえた部分は次のとおりです。

- 1回目 7m52cm - 7m20cm = 32cm
- 2回目 7m31cm - 7m20cm = 11cm
- 3回目 7m54cm - 7m20cm = 34cm
- 4回目 7m20cm - 7m20cm = 0cm
- 5回目 7m43cm - 7m20cm = 23cm

(2) 1

算数 解答（児童用）

1 (1) 15 g

60 ÷ 0.4 の式で計算することができますが、針金の長さを半分にしたとき、重さも半分になることから、0.1mの重さは、60gの針金の $\frac{1}{4}$ の重さです。

(2) 0.4 エ 60 ア □ イ

(0.4、60、□のすべてできて正解)

0.4、60、□のすべてできて正解です。

2 す 20 mL 油 30 mL

(すと油の両方できて正解)

すと油の量は、両方できて正解です。

3 (1) 2

ア、イ、ウは、すべてできて正解です。

(2) ア 56 ① 8 ウ 8

(ア、イ、ウのすべてできて正解)

5分間を(60×5)秒間に直して計算していることが書いてあれば正解です。

4 **まささんの考え**
 道のりを求める式は、(道のり) = (速さ) × (時間) です。
 秒速で考えると、5分間は、(60×5)秒間なので、式は
 8 × (60×5) になります。

みわさんの考え
 道のりを求める式は、(道のり) = (速さ) × (時間) です。
 分速で考えると、秒速8kmは、分速(8×60)kmなので、式
 は(8×60)×5 になります。

秒速8kmを分速(8×60)kmに直して計算していることが書いてあれば正解です。

5 10 通り

直角三角形の面が底面です。

(体積) = (底面積) × (高さ)

6 (1) 24 cm² (2) 168 cm³

7

3

割合は、「比べられる量」÷「全体の量」で求めることができるので、
 $80 \div 200 = 0.4$
 $0.4 \times 100 = 40$ と計算します。

8

(1)	3	(2)	ア
-----	---	-----	---

円周率は、円周に対する直径の割合なので、「円周の長さ」÷「直径の長さ」で求めることができます。

9

2

面積が同じ場合、人数が多い方がこんでいるといえます。

10

(1)	2	(2)	1
-----	---	-----	---

人数も面積も違うとき、1㎡あたりの人数や1人あたりの面積を求めて比べます。この式では、1㎡あたりの人数を求めているので、人数が多い方がこんでいるといえます。

11

(1)	20人
-----	-----

200cm以上250cm未満の人数は全体の30%で、全体の30%が6人だから、全体を□人とするとき、
 $\square \times 0.3 = 6$
 $\square = 6 \div 0.3$
 $= 20$

